

令和2年11月 定例会県議会議会

自民党香川県政会による代表質問の要旨

コロナの影響を踏まえた 県産品の振興

オンラインストアでの販売など販路開拓を進める



いる。

県産品の販路拡大やブランド力の向上を図ることは、地域経済の回復にとっても重要である。今後どう取り組むのか。

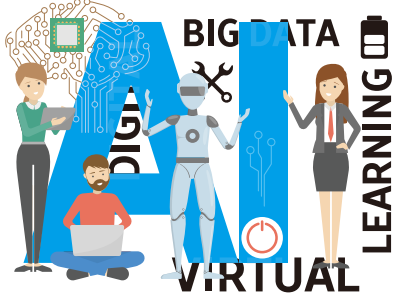
答：(知事)多品目で高品質な本県の県産品は、これまで大消費地での販売促進活動や卸業者等の取引拡大、海外における販路拡大に取り組んできました。

質問：本県には、全国に誇れる優れた県産品が数多くあるが、今回のコロナ禍では宿泊施設や外食産業向けの需要が激減し、ブランド産品の価格の低下や売り上げの減少が起きている。

コロナ感染拡大により、外食向けのブランド産品では価格の低迷や売上げの減少が起き、海外販売も取引額が減少している。

こうした中、その影響を最小限に抑え、安定した販売を継続するため、新たにテレビ通販の活用や百貨店のオンラインストアでの販売を開始した。

海外に向けでは、四国4県で中国向けの通販サイトを立ち上げた。今後も、多様な販売手法の構築や販路開拓に努める。



※ソサエティー 5.0 は、日本が提唱する未来社会のコンセプト。AIやロボットの力を借りて、我々人間がより快適に活力に満ちた生活を送ることができる新しい社会である。

質問：感染症の拡大により、身近なビジネスにおけるオンライン化が進む中、国は、IoTやAIなどの新しいデジタル技術をあらゆる産業や社会生活に取り入れ、様々な

社会課題を解決できる「Society5.0」の実現を目指しており、本県でも県内企業への先端技術導入を推進しているが対応できている企業は少ない。デジタル化の推進に取り残されないため、これらの技術を実装し、産業の活性化につながる仕組みづくりが求められているが、どう取り組むのか。

答：(知事)県内の中小企業の多

くはデジタル技術への関心は高いが、その活用方法や人材の育成・確保などに課題を抱えている。

県では、「かがわAIゼミナール」の開催や研究開発の支援、更に事務業務の自動化や専門家による個別コンサルテーションも実施している。また、ネクスト香川に情報通信型インキュベート工房を4室整備したほか、起業相談やビジネス

鳥インフルエンザの防疫対策 と農家への支援

迅速な防疫措置と発生拡大防止に全力

質問：11月5日に三豊市の養鶏場で高病原性鳥インフルエンザの発生が確認されて以来、短期間に発生が多発している。

現地では消毒作業や殺処分、埋設処理等の防疫措置が自衛隊の派遣を受けるなどして進められている。

長期間にわたる対応で、職員にも精神的、体力的な負担

が相当かかっている。

一方、本県養鶏農家への経営安定を図る支援が必要である。高病原性鳥インフルエンザの防疫対策と農家への支援について聞く。

答：(知事)今回の鳥インフルエンザの蔓延防止と早期終息を図るため、殺処分や鶏舎等の消毒などの防疫措置を国や自衛

隊、地元各市、各種作業関係者の応援をいただきながら実施に努めている。

県職員を大量動員しオール県庁で対応している。職員の健康状況にも配慮していきたい。

発生拡大を防ぐため飼養衛生管理基準の遵守、再徹底や小型野生動物の侵入予防対策、周辺道路やため池外側の消毒、消石灰の配布などを実施している。発生農家や制限区域内の農家に対し国の手当金の早期交付への支援や融資を受ける農家への利子補給などの緊急支援を講じる。

デジタル社会の実現に向けた産業振興

県内企業のデジタル化を積極的に推進